

NATOのサイバーコマンド司令官、
QUADのサイバー大使など内外の有識者達とともに、
サイバー安全保障の今と未来を議論する



※1

新しい自由な世界を求めて：混迷の時代に向けた戦略と連携

CYDEF 2021

2021年11月24日(水)～26日(金) 各日9:00～19:30

主催 サイバーディフェンス研究会



CYDEF 2021特設サイト
eventory.cc/event/cydef-j

◆本イベントでは同時通訳による音声サービスをご提供致します。

※1 ロゴマークの由来

CYDEF2021ではコロナの疫病がはやる中、その一日も早い退散を願うとともに、これからの未来を指し示す力を持つものとして、幕末に現れ、コレラの流行を予言し、それから守護する力を持ったという「ヨゲンノトリ」を今回のシンボルマークに選びました。

※2 会期後の視聴 (2021年12月5日(日) まで)

カンファレンス当日視聴いただけなかったご登録者のため、登壇者にご了解いただいたプログラムについては、会期終了後2021年12月5日(日)まで視聴可能です。

プラチナスポンサー



ゴールドスポンサー



シルバースポンサー



CYDEFとは

日本唯一の国際サイバーディフェンスカンファレンス

近年、世界的に安全保障環境は緊張感を高めています。特にサイバー分野においては、各国の銀行、水道、石油パイプライン等、社会生活を脅かす攻撃のみならず、フェイクニュース、選挙干渉、世論誘導、など民主主義の根幹を揺るがすような深刻な問題が起こっており、サイバーディフェンスへの関心は世界的に高まっています。しかし我が国において、そのような状況に対する認識は、必ずしも十分とは言えない状況にあります。

CYDEFはそのような状況に対して情勢認識を共有し、自由世界の安全に貢献することを目的に、有志が集まり始めたものです。2018年に開始したこのカンファレンスはNATOサイバー防衛研究センターや米陸軍サイバーディフェンス研究所をはじめ、各国の研究機関等の協力を得、世界各国のサイバーディフェンスの専門家を集め、3年間で延べ140名以上の登壇者、3000名以上の聴講者に集まっていただくことができました。

CYDEF 2021の特徴

新しい自由な世界を求めて：混迷の時代に向けた戦略と連携

4回目を迎えるCYDEF 2021では、混迷の度を深める国際情勢を念頭に、最先端の技術に通じ、創造性豊かな各国からの有識者の議論を通じて、皆様にサイバーディフェンスの最新の情報をご提供いたします。

主催：サイバーディフェンス研究会

実施方法：Webinar形式（同時通訳有）

期間：2021年11月24日（水）～26日（金） 各日9:00～19:30

参加者： 1) 登壇者：約60名 2) 聴講者：約2,000名（延数）

スポンサー

- NTTセキュリティ・ジャパン株式会社
- 富士通株式会社
- トレンドマイクロ株式会社
- 株式会社日立製作所
- 株式会社FRONTEO
- 株式会社FFRIセキュリティ
- 株式会社Sola.com

特別後援

- Army Cyber Institute
- 一般社団法人サイバーリスク情報センター
- 国立大学法人政策研究大学院大学
- NATOサイバー防衛協力センター
- 明治大学サイバーセキュリティ研究所
- ESMT ベルリン大学 デジタル社会研究所
- 公益財団法人 電気通信普及財団
- 一般財団法人 新技術振興渡辺記念会

後援

- アメリカ大使館
- 駐日エストニア共和国大使館
- 在日オーストラリア大使館
- 在日フランス大使館
- 一般財団法人 機械振興協会
- 経済研究所
- Hybrid CoE
- 横須賀市
- デジタル庁
- 総務省
- 外務省
- 防衛省
- 文部科学省
- 経済産業省
- 内閣サイバーセキュリティセンター
- 一般社団法人 日本経済団体連合会
- 横須賀リサーチパーク (YRP)

※順不同

開催目的



いま、必要な
サイバーディフェンスの課題と
対策を明らかにし、
改善のヒントを得る



最先端をいくNATO及び
QUAD諸国の課題と対策
に関する議論から得られる
最新の情勢情報



グローバルレベルの
サイバー有識者の議論からの
気づき



世界最高峰のスピーカーによる
自己啓発の機会

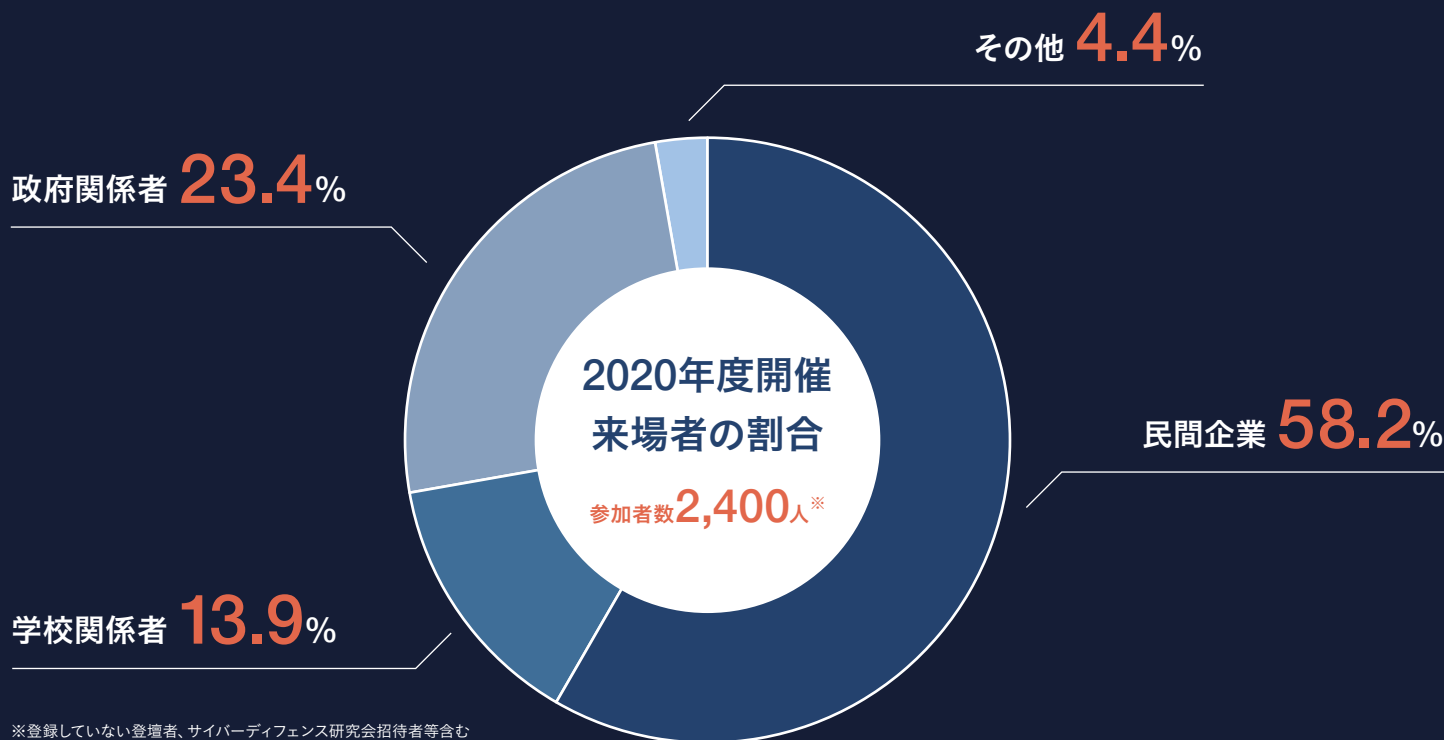


最先端の視点、直接講義、
質疑参加による課題の本質
を深掘りする力

CYDEF 2020の成果

来場者の特徴

コロナ禍のためWebinar形式で実施しました。参加者の半数以上が企業関係者、4割は政府、大学関係者です。日本国内に限らず、NATO関係者、各国大使館の協力のおかげで、米国、ドイツ、フランス、インド、オーストラリア等世界各国から視聴されました。



後援一覧

省庁

- サイバーセキュリティ戦略本部
- 総務省
- 外務省
- 文部科学省
- 経済産業省
- 防衛省

大使館

- 在日オーストラリア大使館
- 駐日エストニア共和国大使館
- 在日フランス大使館
- ドイツ大使館
- インド大使館
- アメリカ大使館

サイバー研究所

- NATOサイバー防衛協力センター
- Army Cyber Institute

関係機関等

- 一般財団法人 新技術振興渡辺記念会
- 横須賀市
- 横須賀リサーチパーク
- 横須賀海洋・IT教育の会
- 一般財団法人 機械振興協会 経済研究所
- レンジフォース株式会社



2021オンラインカンファレンスの様子



2021オンラインカンファレンスの様子

CYDEF 2021に
関するお問い合わせ

CYDEF 2021事務局

〒171-0021 東京都豊島区西池袋5-17-11ルート西池袋ビル8F
Web: eventory.cc/event/cydef-j 受付: 9時-18時 (土日祝除く)

☎ 03-6384-7784

✉ cydef_21@crisis-int.co.jp



CYDEF 2021の登壇者

世界約20か国から約60名のエキスパート達が登壇

ジェームス・ルイス博士/CSIS上級副社長
メリッサ・ハザウェー氏/ハザウェーグローバルLLC.
ステファン・ファガティ中将/米陸軍サイバーコマンド司令官
ディダー・ティンシェリ少将/フランスサイバーコマンド司令官
トビアス・フェーキン大使/オーストラリアサイバー大使
ヘリ・ティルマ・クララ大使/エストニアサイバー大使
インドサイバー大使級(調整中)/インド外務省
ミッシェレ・マーコフサイバー調整官/米国防務省
ブライアン・ウェルズ博士/NATO科学技術機構長官
ヤーク・タリエン大佐/NATOサイバー防衛研究所長
ジョア・ファリナ教授/NATO通信学校
ポール・トルトラ大佐(退役)/米海軍兵学校サイバー研究所長
ジョセフ・ショロエフ大佐/ハイブリッド研究所副所長
ディダー・ダネ博士/フランス陸軍士官学校研究所長
ガビ・ドレオロドセック博士/ドイツ連邦軍大学サイバー研究所長
クサバ・クラズマイ博士/ハンガリー国立大学サイバーセキュリティ研究所長

坂 明氏 / 公益財団法人 東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会 CISO
有馬裕サイバー政策担当大使/外務省
渡辺秀明博士/初代防衛装備庁長官
武田仁己博士/防衛装備庁次世代装備研究所
足立吉樹陸将補/陸幕指揮通信システム・情報部長
矢野義昭元陸将補/東シシガン大学客員教員
時藤和夫元空将補/空自幹部学校客員研究員/株式会社日立製作所
橋本豪氏/渥美坂井法律事務所
三角育生教授/東海大学
湯浅壘道教授/明治大学
平山敏弘教授/情報経営イノベーション専門職大学
三宅功博士/NTTデータ先端技術株式会社
松原実穂子氏/日本電信電話株式会社
原澤克嘉博士/株式会社日立製作所
清水努氏/トレンドマイクロ株式会社
益岡竜介博士/富士通システム統合研究所
梶浦敏範氏/日本サイバーセキュリティ・イノベーション委員会

はじめ約60名
※順不同

CYDEF 2021プログラム委員

ベン・ヒラー氏/NATO司令部
ピレ・ベルニク氏/NATOサイバー防衛研究所
エリー・アルハジャ博士/米陸軍サイバー研究所
クリス・デムチャック博士/米海軍大学サイバー研究所長
サンドロ・ガイケン博士/ESMT ベルリン大学 デジタル社会研究所長

田中達浩元陸将補/富士通システム統合研究所
齋藤孝道博士/明治大学
ラウリ・コルツ・バルン氏/サイバーディフェンス研究所
井手達夫博士/国立大学法人政策研究大学院大学(客員研究員)

講演テーマ

※内容は変更する可能性があります。時間等詳細はCYDEF2021特設ページ (<https://eventory.cc/event/cydef-j>) をご覧ください。

CYBER INTELLIGENCE/INFLUENCE

影響工作

国家やテロリストが関与して、人の認識・認知領域に情報攻撃を行い、世論形成や意思決定に影響を与えるInfluence Operationは戦略的な兵器としての役割を増大しつつある。その状況について各国の事例を交えながら議論する。

サイバースレットインテリジェンス

サイバー攻撃は攻撃者属性が分からない上に、近年安保目的とも経済目的とも見分けのつかない攻撃も増えている。そのような中で国家の意図を受けた攻撃者の意図・能力に関する情報をいかに収集し、分析するか、その在り方について議論する。

カウンターインフォメーションオペレーション

インターネットを介して膨大な情報が国境を越えて行きかい、かつてなかったほどに他国の影響を受けやすくなっている。そのような中で他国の工作活動を封じるために、個人の権利と社会の公益をどのように調和させていくかを議論する。

CYBER STRATEGY/CONFLICT

国際法と規範

依然として続くサイバー攻撃は既存の秩序と規範への挑戦であり、将来にわたるサイバー脅威との共存は不可避となっている。Tallinn1&2への努力を評価しつつ、サイバー攻撃を抑止するための国際法と規範についての今後の努力の方向を議論する。

国際協力

共通の脅威に対抗して安全なサイバー空間の利用を促進するためには国際的な協力が不可欠である。今後益々増大するサイバー攻撃の抑止のためにQUADを中心とした、アジア太平洋諸国の国際協力の方向性について議論する。

サイバーイノベーションハブ

サイバー領域では技術の進化が早く、かつ、全ての経済・社会活動等に関わるために多くの人材を必要とし、産官学の連携が不可欠となっている。効率効果的な産官学の連携を追求するCYBER Innovation Hubについての各国の状況と考え方を共有する。

教育と訓練

サイバー防衛に関する教育訓練は、市民から軍人まで、サイバーリテラシーのレベルから、サイバーセキュリティ技術者、高度なサイバー戦士のレベルまで広範にわたり、また技術革新の中でその変化に対応していかなければならない。効果的な教育の実施についての各国の状況とそのあり方を議論する。

CYBER OPERATION/TERRORISM

重要インフラ防護

犯罪者・テロリスト・国家の多様な主体が標的にする可能性がある重要インフラの防護は依然として重要課題である。被害の低減あるいは攻撃効果の低減のための有効な対策を議論する。

サプライチェーンセキュリティ

情報技術とその国際分業化の進展とともに、マルウェア等を仕組まれた製品がシステムに混入する可能性も高まっている。そのような中であってどのようにして社会の安全・安心を守っていくかについて議論する。

CYBER TACTICS/TECHNOLOGY

革新的技術

サイバー領域における技術の追求と進化は、攻撃と防御いずれの側にとっても際限なく続いている。既存の価値観破壊を起こすような新興技術EDTの追求についての展望を共有する。

探知と防護

サイバー空間ではアトリビューション（攻撃者の属性情報）の特定が困難で、攻撃者優位の技術特性が続いている。それに対応するために、どのような技術・手法が開発され、また研究されているかについて議論する。

セキュリティとプライバシー

セキュリティとプライバシーは相反する価値観であると見なされることがよくあるが、実際には同じ原則に基づき、相互に依存していることもある。これらの原則が日常のアプリでどのように処理されるか、ベンダーのビジネス上の利益をどのように助け、あるいは妨害するか、ユーザーが全体的な背景を無視する場合にどのようなリスクが潜んでいるかについて議論する。

参加方法

カンファレンス参加の申請方法

1. eventoryにログイン※1



eventory.cc/event/cydef-j

2. イベントに参加をクリック



3. 申請完了



- ※1 CYDEF 2021ページの閲覧はeventoryの登録が必要です。
- ※ 申請内容によっては申請の承認が下りない場合がございます。
- ※ 申請登録を行わないと聴講ができません。必ず申請手続きをしてください。
- ※ 承認されるまで時間がかかる可能性がございます。余裕を持って申請をお願いいたします。

チケット料金

料金一覧

産業関係者

10,000 円

※1 早期割引5,000円

学術関係者

6,000 円

※1 早期割引3,000円

官公庁

4,000 円

※1 早期割引2,000円

学生

1,000 円

- ※1 早期割引は10月31日までです。11月1日から通常料金となります。
- ※ チケット購入前に必ずカンファレンス参加の申請を行ってください。
- ※ カンファレンスの申請後、順次チケット購入についてご連絡をいたします。

